

# 福井県DXの取組み

令和6年3月21日

福井県

# 01 ふくいDXセミナー

県民・市町・産業の皆さまとご一緒に、DXを推進

仕組み  
(令和3年度)

## 行政 × DX

住民目線で  
デジタル技術も使って  
しごとを再デザイン



菅原 直敏 様  
(福島県磐梯町CDO)

人  
(令和4年度)

## 教育 × DX

社会のルールが変わった  
探求型の学びに向けて  
とにかくやってみる



平井 聡一郎 様  
(未来教育デザイン代表)

豊かに生きる・より良い社会  
(令和5年度)

## ウェルビーイング × DX

デジタルを活用して  
最大多様の最大幸福を追求  
(Better Co-Being)

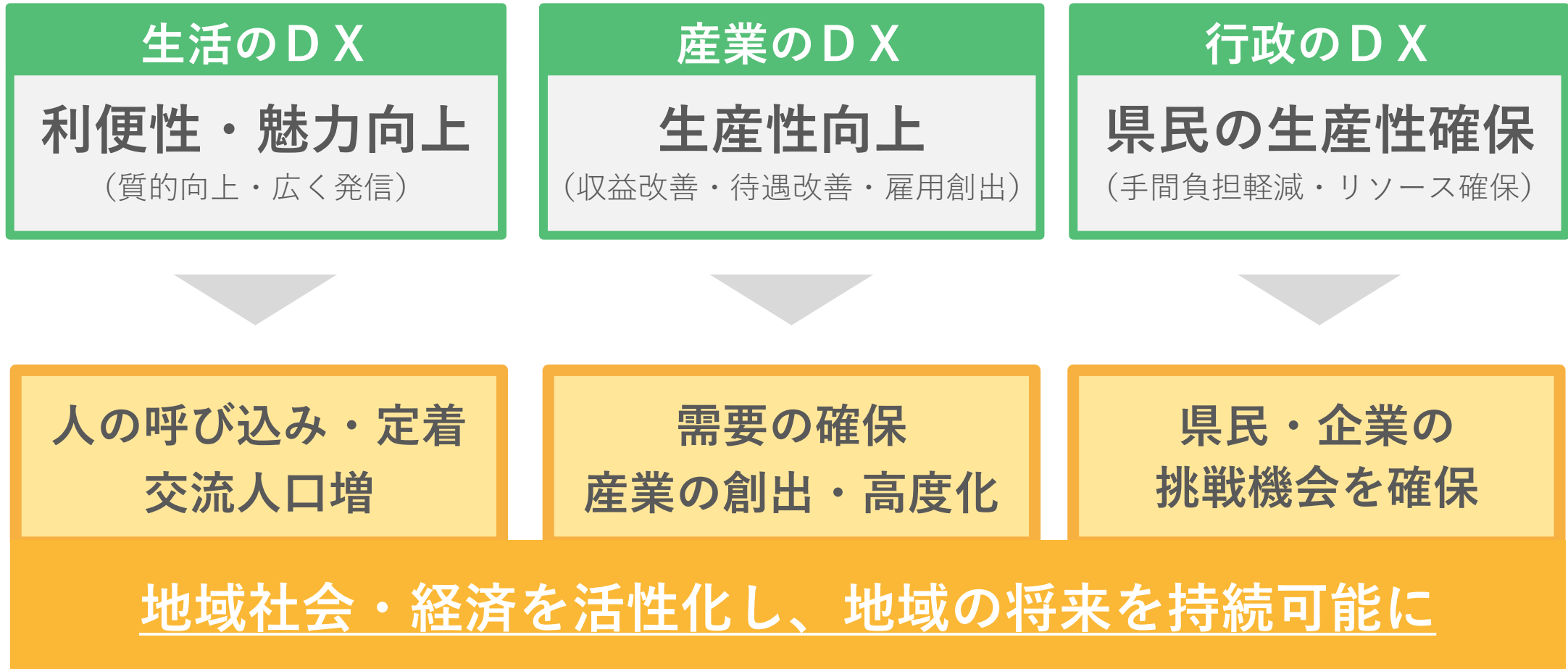


宮田 裕章 様  
(慶應義塾大学 医学部医療政策・管理学教室教授)

# 02 福井県DXのパーパス

地域の社会・経済を活性化し、将来を持続可能なものに

利用者目線でやり方・仕組みを見直し  
即効性が高い手段(DX)



# 03 DXに取り組む背景

社会に浸透し、低廉で効果の高い手段（デジタル）を積極活用

## 情報化社会への転換 (社会のルールが大きく変化)

- 世の大宗がデジタル化  
(ソフトウェアに代替)
- PCやスマホに止まらず、  
実社会に浸透
- 比較優劣の源泉に
- 社会は今後さらに  
指数関数的速度で変容  
(AI・自動化等)

## 人手不足への対応 (労働生産性の向上)

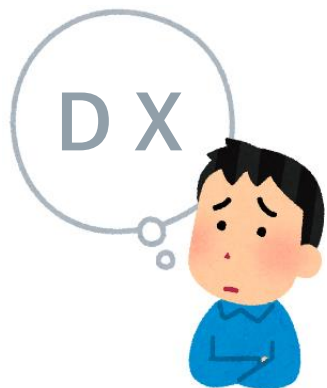
- 人口減少により  
働き手・財源等に制約
- 社会の成熟に伴い、  
ニーズは多様化・複雑化
- 従来やり方では、  
サービス水準は維持困難

## 地域の暮らしや風景を 後世に残す

- 5回連続 幸福度日本一
- 今の生活が続く保証なし  
(人口流出・人手不足・  
自然災害・公共交通縮退等)
- 地域の社会経済を活性化、  
将来を持続可能に
- 疫病・災害時の  
社会機能継続にも対応

# 04 地方の実情に応じた対応

## 「利便を実感できる取組み」と「達成に向けた仕組み」



DXに  
お悩みの方多数



変化の必要性  
感じない



デジタル人材  
不足



都市部との  
環境格差



利便を実感できる  
デジタルの取組みを先行提供

生活に密着した利便を実感  
自分事として取り組む機運を醸成



自律的・継続的な  
DX遂行の仕組み作り

実務や制度に精通する現場×デジタル  
全県的な取組を支える基盤整備

- 方針策定
- 意識変革
- 推進体制整備
- 人材育成確保
- 制度設計
- システム整備

# 05 取組みの特徴

## 生活に密着した利便を提供、DX推進の機運を醸成

### 生活密着の課題解決

大雪対策DX  
(除雪状況見える化)



交通安全対策DX  
(隠れた危険エリア見える化)



### 県民目線で再デザイン

手続き電子化  
(98%実施)



わかりやすい情報発信  
(HPアクセス解析)



政策形成への参加  
(意見傾聴の場)



### 県民参加

シビックテック  
(現場首長・民間団体と協働)



限界集落ドローン物流  
(地域住民と協働)



### 外部パートナー共創

未来技術活用PJ  
(民間協業での課題解決)



オンライン診療  
(診療所等と連携)



避難所運営DX  
(LINE連携)





# 06 高い外部評価とその理由

## 人口や投入予算額によらず、県全体で積極的に取り組む姿勢

### 外部評価



全国  
**1位**  
(33位→6位→1位)



全国  
**4位**



DXリード  
部門賞



内閣総理  
大臣賞

視察・ヒアリング

政府閣僚（総理等）  
国審議会ヒアリング  
他自治体視察

### 全県的な マネジメント体制

県

- 事業倍増  
(3年：47→87事業)
- 推進の仕組み

市町

- 7割で計画策定
- 現場取組拡大  
(書かない窓口等)

産業

- 年1,200社支援  
(対前年125%)
- モデル企業91社

### デジタル 行政サービス

現場改善

- 98% 手続電子化
- 書かない窓口
- ローコード・  
生成AI 日常使い

先進事業

- 自動運転レベル4
- ドローン物流
- 林業DX
- 観光データ分析
- デジタル地域通貨

### 住民の デジタル普及 人的資本

普及

- ネット利用頻度
- デジタル活用状況
- 情報発信量
- 取組み参画 等

人的資本

- 汎用ツール活用  
(OA・Web・動画)
- 高度技術活用  
(アプリ制作・  
データ解析等)
- 国家試験合格 等

# 07 取組みの一例 (①データ : Data for Society)

## 実際の運転挙動データを活用して交通安全対策に取組み (事後対策から、先手を打った未然防止等へ転換)

### 県民参加型実証



- 交通量・児童数の多いエリアで取組み
- 急ハンドル、急ブレーキ、スマホながら運転等を検知
- 地域の学校や企業等が協力

データ取得・分析

### 交通安全マップ



福井県交通安全マップ (https://fsafety-map.app)

情報公開 (危険箇所見える化)

### 政策展開

自動車への  
速度規制  
(時速30キロ区域指定)



小中学校  
での活用  
〔データ分析学習  
児童見守り〕



歩行者への  
注意喚起  
(音による注意喚起)



DX実装・EBPM



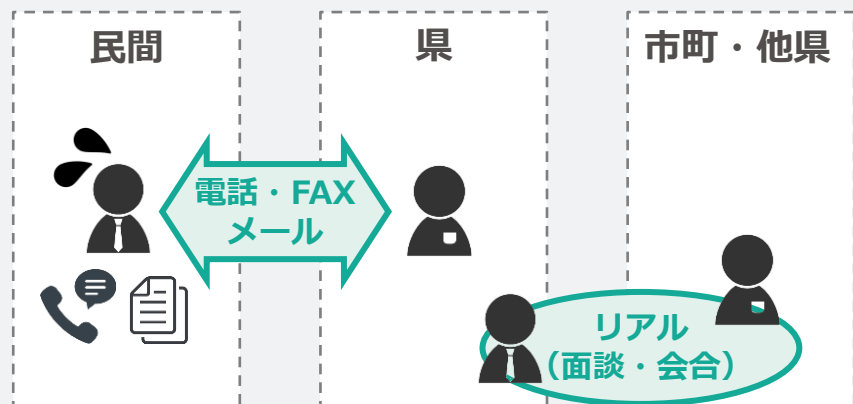
# 08

## 取組みの一例 (②連携：政策オープンイノベーション)

### 幅広い政策分野で公民連携を徹底

(県の運用するTeamsを外部に拡張、組織の垣根を越えてリアルタイムに協働)

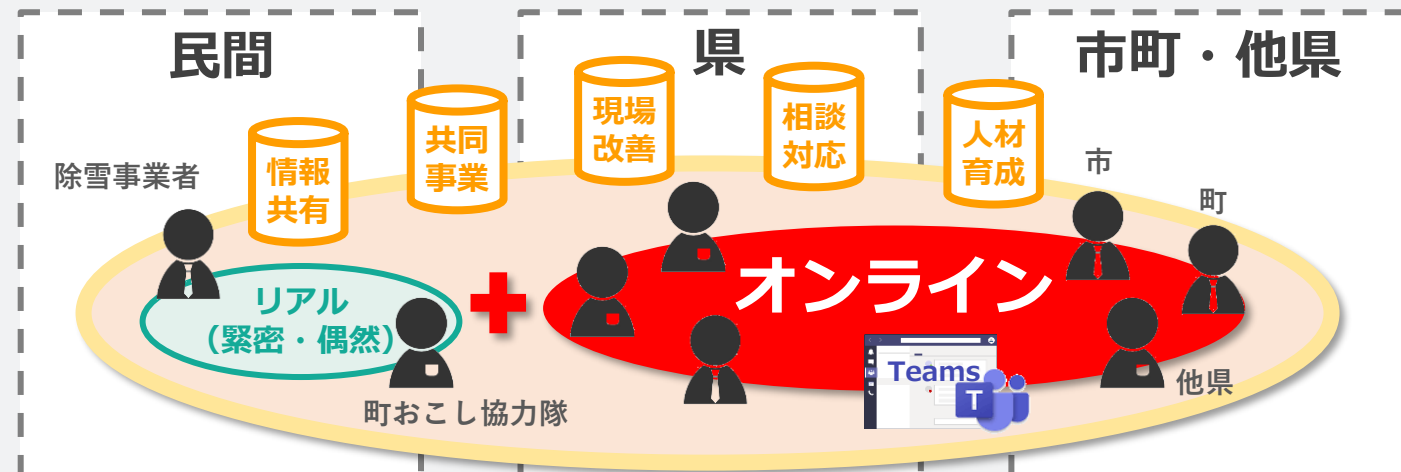
#### 従来



**リアル中心に実行**  
(手間・非同期・一方向・散発的)

#### 現在

(外部人材 1300人参画、300チーム超)



**リアル+オンラインで現場取組みを拡大強化**  
(簡便・即時・双方向により、相談・議論・共有・共同事業推進)

# 09 取組みの一例 (③共同化：デジタル共通基盤)

## 地域通貨・データ連携を全県的に共同利用

(地域共通基盤を市町・産業に開放し、公民連携で価値創造・資本効率を向上)



- 県・市町**
- 消費喚起 (商品券、特定産業支援)
  - 給付支給 (子育て、福祉)
  - 行動変容 (ウォーキング、健診、ボランティア、移住、婚活、省エネ、地域行事参加)
  - 地域コミュニティ活性化
  - 観光促進

- 産業**
- 消費喚起 (クーポン含む)
  - 集客・周遊促進

- 共同利用によるコスト低減
- データ・エビデンスによる、柔軟・迅速・個別的な提案
- DX一歩目としての活用も (便利さ・効果を実感)

## ウォーキングに地域通貨付与 (健康・幸せ実感増進、コミュニティ形成、行政負担低減)



# 10 今後の挑戦

## 行政DX徹底と地域社会への波及に取り組む (データ・連携・共同化をキーワードに社会実装を推進)

### 目下の課題認識

1

#### 県民の期待値に 足る行政DX

スピードアップと品質確保  
(UX向上・プッシュ対応・AI活用)

2

#### 県のみならず 地域社会全体への波及

市町・産業・教育等  
(仕組みとサービスを見直し)

### 対応方針

変革に向けた一歩目を  
より多くの方に一緒に踏み出していただく

生活レベルで  
利便・豊かさを実感

#### 社会実装徹底 (現場支援)

- 防災DX
- 福祉・医療DX
- まちづくりDX
- 教育DX
- 産業現場のDX支援  
等

面的に  
取組を牽引

#### DX readyな 人材組織強化

- 業務プロセス再構築  
(行政手続オンライン化・  
国/地方間データ連携・  
ローコード/生成AI活用等)
- アナログ規制・  
運用の全面見直し  
(県版デジタル臨調)

地域社会全体に  
裨益・底上げ

#### 連携体制強化 (公民間・行政間)

- データ活用
- 公民間・行政間連携  
(民間団体・シビックテック、  
区市町間、都道府県間)
- デジタル基盤共同化  
(独立・支援関係 → 協働：  
共同事務・一体的運用を検討)
- リスキリング  
(人材の高度化・流動性確保)



みずから・みんなで・ふくいをカエル

オタマジャクシからカエルに変態 (Transformation)

未来へ大きく蛙飛び